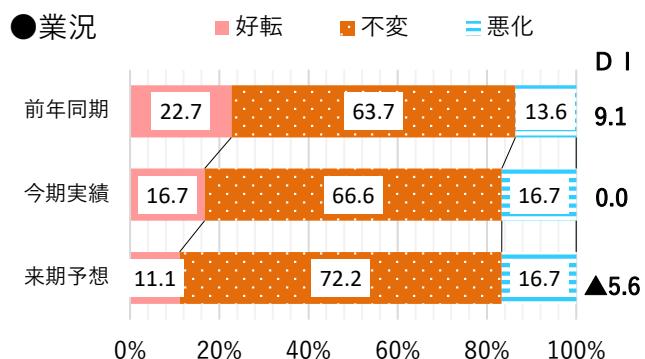


# 卸 売 業

## 業況、売上、採算

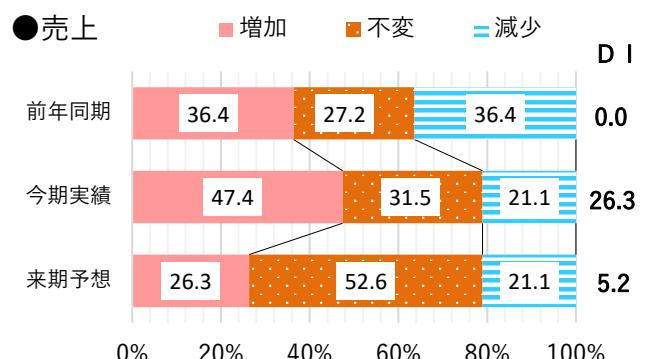
今期（2025.1～3）の業況判断DIは0.0で、前年同期（2024.1～3）と比べ9.1ポイント低下しました。

来期（2025.4～6）業況DIは5.6ポイント低下し、マイナスに転じると予想しています。



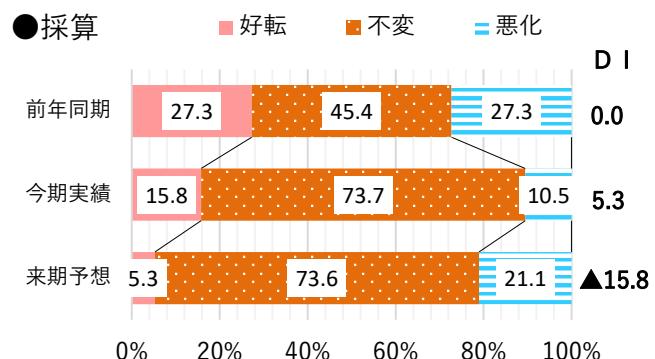
今期の売上DIは26.3で、前年同期と比べ26.3ポイント増加しました。

来期の売上DIは21.1ポイント低下すると予想しています。



今期の採算DIは5.3で、前年同期と比べ5.3ポイント増加しました。

来期の採算DIは21.1ポイント低下し、マイナスに転じると予想しています。

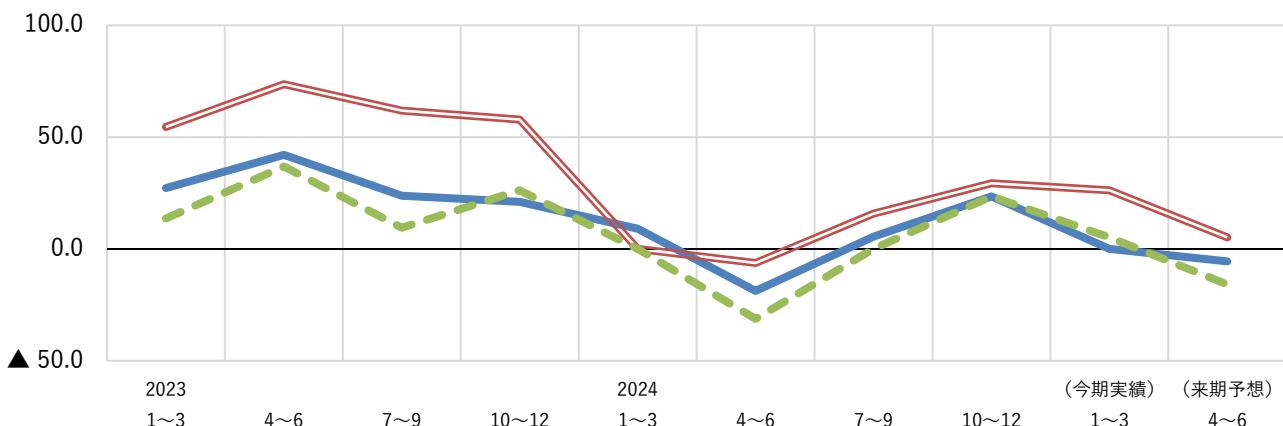


### ●主要3項目DIの推移

— 業況判断

— 売上高

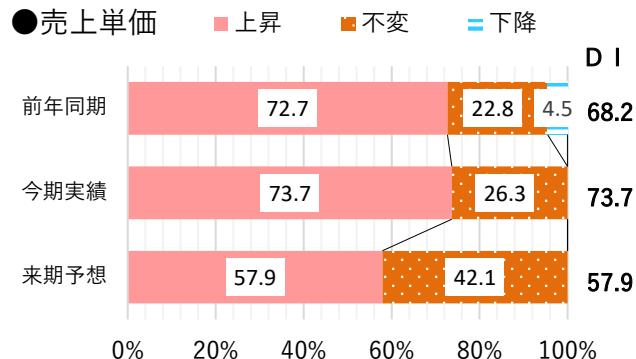
— 採算



## 売上単価、商品仕入単価

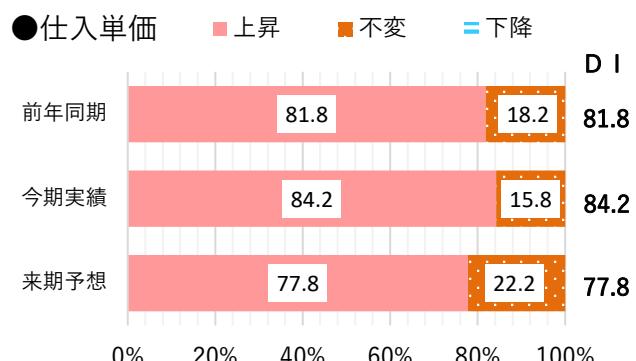
今期の売上単価DIは73.7で、前年同期と比べ5.5ポイント増加しました。

来期の売上単価DIは15.8ポイント低下すると予想しています。



今期の仕入単価DIは84.2で、前年同期と比べ2.4ポイント上昇しました。

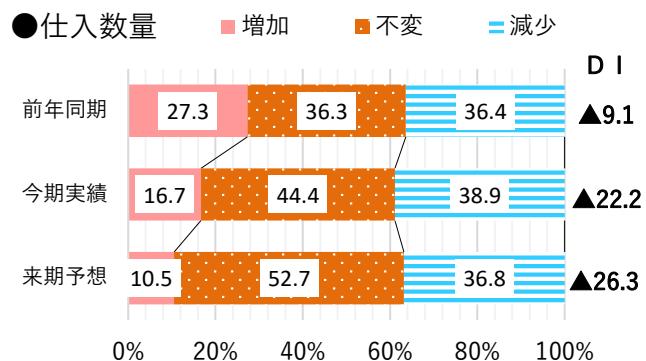
来期の仕入単価DIは6.4ポイント低下すると予想しています。



## 商品仕入数量、商品在庫数量

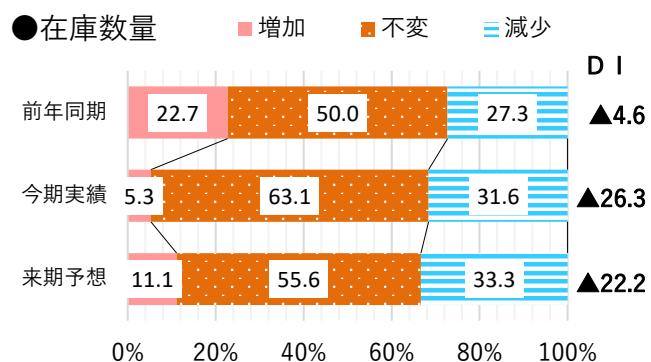
今期の仕入数量DIは▲22.2で、前年同期と比べ13.1ポイント低下しました。

来期の仕入数量DIは4.1ポイント低下し、マイナス水準が継続すると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲26.3で、前年同期と比べ21.7ポイント低下しました。

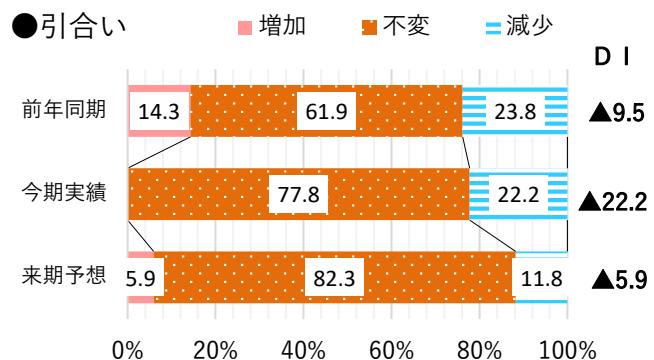
来期の在庫数量DIは4.1ポイント上昇しますが、マイナス水準が継続すると予想しています。



## 引合い

今期の引合いDIは▲22.2で、前年同期と比べ12.7ポイント低下しました。

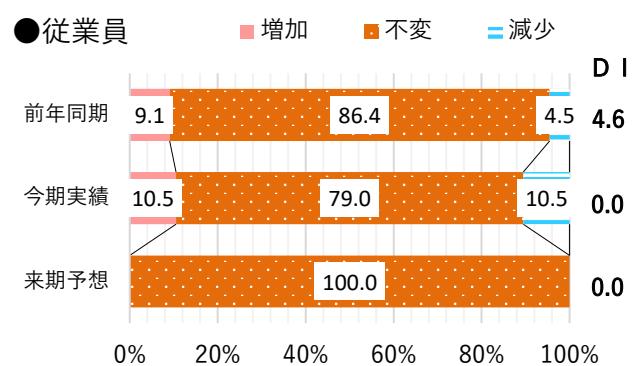
来期の引合いDIは16.3ポイント上昇しましたが、マイナス水準が継続すると予想しています。



## 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0.0で、前年同期と比べ4.6ポイント低下しました。

来期の従業員DIは0.0で、横ばいに推移すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は73.7%、不足していると回答した企業の割合は26.3%でした。



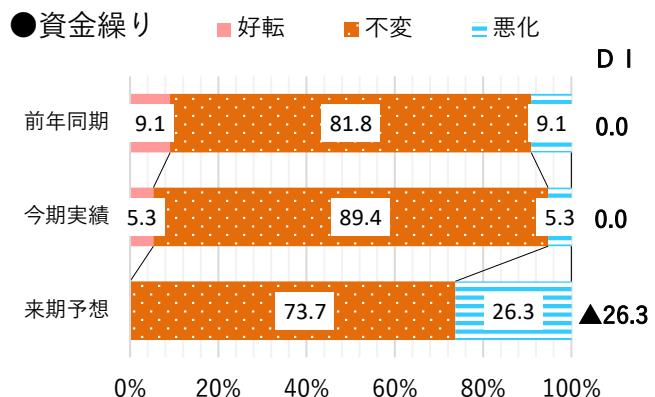
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、68.4%を占めました。

	今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0	0
	適正	1	1
	不足	1	1
不变だった	過剰	0	0
	適正	13	13
	不足	2	2
減少した	過剰	0	0
	適正	0	0
	不足	2	2

## 資金繰り、設備投資

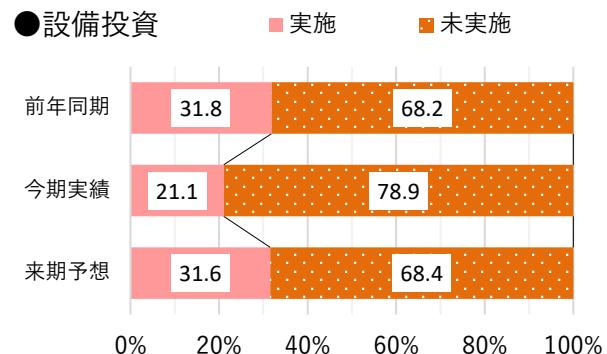
今期の資金繰りDIは0.0で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

来期の資金繰りDIは26.3ポイント低下し、マイナスに転じると予想しています。



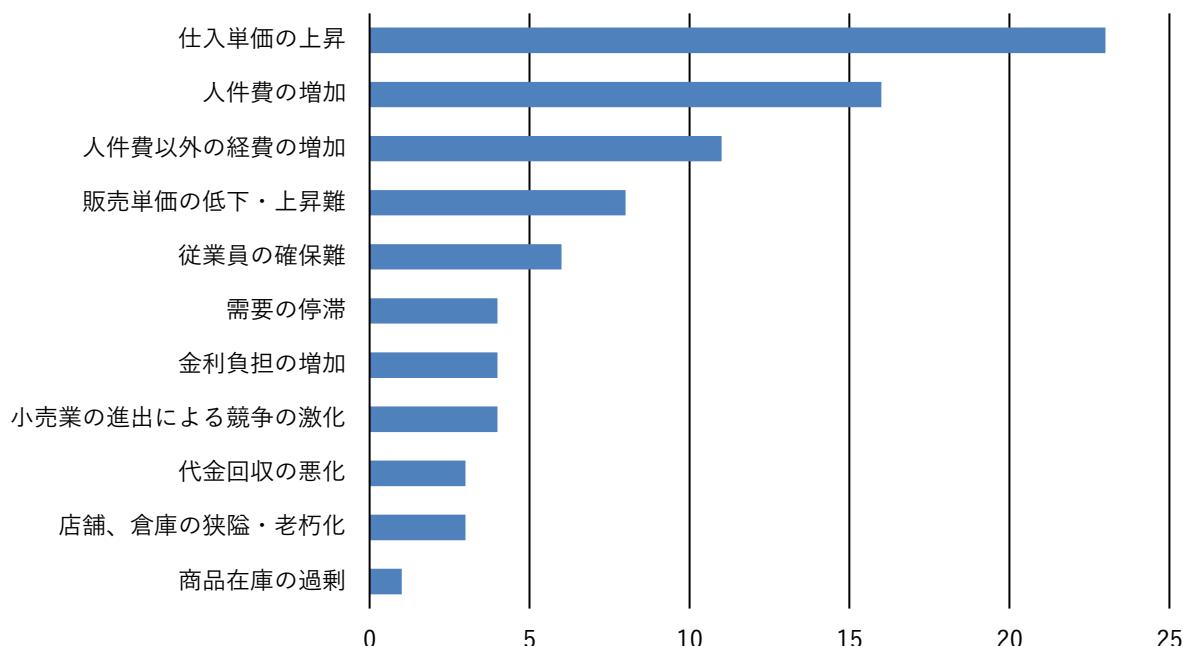
今期の設備投資は21.1%が実施と回答し、前年同期と比べ10.7%減少しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「店舗」でした。

来期は31.6%が設備投資を計画していると回答しています。



## 経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費の増加」、3位が「人件費以外の経費の増加」の順です。



## 企業の声

### [今期の業況について]

- 数年続く商品の値上がり、海産物の不漁と乾物の高騰で仕入困難な商品が増え販売する商品の入手が厳しい状況が続き引き合い、及び注文があっても販売数量を調整しなければ欠品になり、売上も伸ばすことが困難であり、この状況が良くなるとは思えず販売品の目先を変えていかなければならないと考えている。  
(食料・飲料)
- 売上増が見込めず、経費増にかかる粗利を考えると、販売価格が高くなり他店との競争に負ける。  
(貿易業)
- 燃料、人件費等の上昇が続き、利益を圧迫してきている。仕入価格も上昇するものが増えてきている。  
(建築材料)
- 新幹線需要が増加し売上は増加した。中途で1人採用した。(建築材料)
- 今期の排雪、雪の仕事も2月に入り少なく、代わりになる仕事があればと感じている。(自動車部品)
- 仕入単価、経費が上がっており、販売単価に転嫁しきれない。(包装資材)
- 価格は落ち着いたが販売量は低水準のままで利益確保に苦戦している。(鉱物・金属材料卸売)
- 売上高は仕入価格上昇の分増加したが、利益は取れなかった。(石油卸売)

### [来期の業況について]

- 来期も同じだと思う。(食料・飲料)
- 燃料、人件費等のコスト分をどう転嫁していくかが課題となる。(建築材料)
- 新幹線需要は引き続きあるが、新規需要はない。(建築材料)
- 降雪量が少なく、除雪に関わってる業者としては大変だ、現状、稼働が半分位になってしまい今後が心配。  
(自動車部品)
- 厳しい状況が続くと思う。(包装資材)
- 人件費・一般経費が上昇する見込みでそれに見合う利益を取れそうもない。(鉱物・金属材料卸売)